

長野政雄さんの位置はどこですか?

と尋ねられる事よくあります。まず、位置といっても**3か所**あります。①連鎖外れ位置、②長野政雄さんの位置、③客車停止位置の3か所です。また、

正確な位置はわかりません。理由は、1909年2月28日は雪が積もっていた事、事故による不安を広めたくない事、事故後100余年もの間に起伏やカーブが改善されている事が主な理由です。しかし、僅かな

資料をもとに**推測**はしてみました。また、**線路を渡れる位置**を紹介させていただきます。十分に安全を確認した上で渡って下さい。(鉄道開通は1899年11月15日)

線路を渡れる位置	JR 旭川駅(起点)から北へ	JR 塩狩駅から北へ
19 線踏切	33k762m	5k362m
21 線踏切 (12/10~3/15 自動車止)	32k587m	4k187m
27 線踏切 (12/10~3/31 通行止)	29k556m	1k156m
JR 塩狩駅	28k4m	0

情報源は主に2つあります。一つは後藤車掌のお話、もう一つは新聞記事ですが、新聞記事の内容は現在程正確ではないようです。同記事では後藤政利氏、長野正雄氏と名前の誤記も見られます。

【1】後藤勝利車掌のお話

位置	後藤勝利車掌のお話 →小川秀一牧師の記録	換算 (1 マイル=1609.344m)	現在の JR 塩狩駅 28.4km を 連鎖外れ位置と仮定
①連鎖外れ	峠のほぼ山頂(塩狩駅)	0	28k4m
②長野政雄氏	2 マイル	3k218.688m	33k22803m
③客車停止	3 マイル	4k828.032m	31k61869m

【2】1909年3月2日(火) 北海タイムス新聞記事による連鎖外れ位置

旭川から	和寒から	合計
18 マイル 40 チェーン =(18 × 1609.344) +(40 × 20.1168)=29k773m	5 マイル=(8×1609.344)=8k047m	37k820m

【3】記事の距離を現在の距離に修正

旭川～塩狩	和寒～塩狩	合計
28k577m	7k723m	36k300m

* 当時は**自動連結や貫通ブレーキも無かった**とされています。また、

塩狩駅がありませんでした(1916年9月5日の塩狩信号所設置が始まり)。

* 1909年2月28日(日)の日の入りは17:22頃、事故は18:30頃、月は、月齢7.7、九夜月でした。







国道40号線から19線踏切方面



19線踏切より北



19線踏切より南



国道40号線から21線踏切方面
(この付近が北緯44度線と国道40号線が交差するところ。)



21線踏切より北



21線踏切より南